

[第855回ゼミ報告] 2023年4月7日号

近年、北の守りではなく、南の海域が重要視され、かの国の空母が航行する近くの海に、陸将ら幹部の乗ったヘリコプターが墜落と速報が駆け巡る… 3月22日のゼミは、齋藤幸平『ゼロからの『資本論』』の第1章「商品」に振り回される私たちを川口さんの報告で行いました。人間は、昔から自然へ働きかけ、物質代謝、労働は人間と自然との行為、媒介し規制し制御する一過程。人間と自然との関係に決定的な変化、資本主義の特殊性。資本論冒頭の商品分析の主題は「富」。社会的富を労働が生み出し、それが商品の姿に変えていく、商品の巨大な集まりが現れる。商品に頼らず生活はできない。資本が森を囲い込む、コモンへの囲い込み。資本主義は商品生産が全面化された社会。無限の富の蓄積、長時間労働・不安定雇用・低賃金・格差・貧困。人間の欲求ではなく資本を増やすことが目的、必要なもの(使用価値)より売れるもの(価値)。人間がモノに振り回される、商品になったテーブルが踊りだす、物象化。高度成長の終焉から新自由主義政策へ、規制緩和・市場自由化。民営化、私物化、コモンが奪われた状態、現代版囲い込み、利益優先への効率化。社会的富の問題：公立図書館での非常勤職員の増加は効率化とコスト削減、サービスの低下。神宮外苑再開発：地域の憩いより商業施設へ。効率化と金儲けへの時間配分：時間泥棒(エンデ)。アトム化した社会、自己責任、格差・貧困拡大。資本論の目的：資本主義社会の内在矛盾を明確にし、よりよい社会を生み出す「近道」を示そうとした

討論では、労働は自然と人間との媒介、自然に対して一方的でない。未開社会における物質代謝、動物は採取、生産ではない。民営化は私物化・現代的囲い込みであり、私物化から資本の利益へ。社会的インフラの問題。上下水道の民営化の問題、市民の手に戻す、コモンの形成、新自由主義に代わるものへ。テーブルが踊りだす：物神化、ブランド化。アーノルド・パーマーの傘マークで十倍の価格がつく。過剰生産→恐慌時価値下落→使用価値の放棄、価値を守るために使用価値を破壊する。今回のクレディスイスの問題は流動性のミスマッチ、キャピタルゲインに対しキャピタルロスはある。

会場参加は小野さん・川口さん・松村さん・北川さん・山口さん・高田、オンライン参加は齋藤さん・竹内さん・後藤さん・松本さんの10名でした。

* 4月12日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。
・オンライン情報 Zoom: ID: 810 6797 1122 パスコード: 977011

***** ゼミ日程 *****

4月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第1部第2章 交換様式Bと力 報告・竹内さん
4月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
齋藤幸平『ゼロからの『資本論』』第2章 なぜ過労死は・・・ 報告・高田
5月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第1部第3章 交換様式Cと力 報告者未定
その後 5/24, 6/14, 6/28, 7/12, 7/26 [アイクルの部屋]

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755
HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso